



斎藤『英和中辞典』の話の続き

- 3 地理 酪農・混合農業
乳牛のオスはかわいそうだなあ…。
- 4 英表 関係詞Ⅲ～Ⅳ／復習
試験範囲の内容終了～！（木藤クラス）
- 5 日本史 後三年合戦
清原清衡（笑）
- 6 コミュ英 コートジボワールのカカオ
ビデオのスピードが早い～（泣）
- 7 古典 筒井筒第二段落

「女」はいい人だと思った

○あとテストまで2週間らしいですね。この土・日、がんばろうと思います。

*

前号で書いた斎藤『英和中辞典』は、実は10月26日に岩波書店からCD-RPOM付きの新版が発売された。それまでは古本屋でしか手に入れることができず、使い込まれたものなら、すなわち書き込みがあったり、ページが折れていたり、日に焼けていたり、ひどいものだとシミがついていたりするのだが、そのレベルの本なら4000円くらいで手に入ったのだが、いわゆる「美品」、つまり、使われていない本とか、使われたとしてもほとんど使用感のないもの、折れや書き込みや日焼けやシミなどが無い本は、安くても20000円くらい、ネットでみると100000円を超える本もあるというものだったのである。

それが今回新版となって再び手に入りやすくなった。さすがに定価10800円はそれなりだが、辞書ファンや英語研究者、英語大好き人間にとっては、大変なプレゼントである。かく言う私も、古本の旧版を持っているが、早速この新版も手に入れた。

で、この新版、何がイイのかというと（実

は、これは嫌だという人もいるようなのだが）、一流の学者さんが現代の我々にも使いやすいように……なぜなら、この本は大正4年に初版が出ている関係で、現代の我々にはなじみのない漢語や文字遣いで語釈がなされていたり、現代では使われなくなった用例などが収録されたり、political correctnessの観点からは問題のある例文があったりするから……語釈の訳語にふりがなをつけてくれたり、素晴らしいとされる例文の訳文の難しい語句に注をつけたり、さまざまな現代的な観点から補注を加えてくれているのである。

例えば、dayの項に、

「Such a man will stand your friend in the day of trouble.」

という例が記載されている。これは「in the day of trouble=まさかの時」の例文なのだが、もとの斎藤『英和中辞典』の訳は、

「あれは真逆の時の力となる人だ」

となっていて、おそらく君たちは「真逆」を「まぎゃく」と読んで、何のことを言っているのか分からなくなってしまうに違いない。もうお分かりの通り、「真逆=まさか」と読むわけである。こういうところに、この新版ではフリガナが付されているわけだ。

この辞書には、クジラ構文（A whale is no more a fish than a horse is.）や仮定法（I wish I were a bird.）をはじめ、君たちが英文法で学習する内容の、そのもとになった例文が満載されている。英語好きな人は、ぜひ（お年玉で？）購入しよう。

（八木克正『斎藤さんの英和中辞典』岩波書店、2016を参考にしました。）